

校名：奈良女子大学附属小学校

所在地：〒631-0024 奈良市百楽園1丁目7-28 電話番号：(0742) 45-4455

記載日：平成 28(2016)年5月17日 記載者：堀本 三和子 記載者役職：副校長

校風、特色について

◆**子どもの自律した学習**……大正自由教育からの 100 年の伝統と実践を踏まえ、木下竹次が提唱した「奈良の学習法」や戦後の「奈良プラン」を継承しつつ、自律した学習を目指しています。「しごと」・「けいこ」・「なかよし」の教育構造のもと、子どもが主体的に生活や学習を創っています。



◆**文部科学省研究開発学校**……平成 18～20 年度、平成 21～23 年度の指定に続き、平成 27 年度から 4 年間は、「『生活学習力』を育成する教育課程の研究開発」をテーマに、研究を進めています。三つの柱が中心です。

○「**学び文化の伝承**」：異学年による活動（「なかよしひろば」、「なかよしラボ」）

○「**自律的な学習力の発展**」：「おたずね・おこたえ、めあて・ふりかえり、独自学習・相互学習、児童中心の学習・活動」

○「**生活学習力の育成**」：生活と学習をつなぐ活動である「みんなへのおしらせ、元気調べ、日記、自由研究」などを通して、生活と学習の往還を主体的に進める生活学習力の育成

◆**幼小一貫教育校**……幼小の教師が協働して 9 年間の子どもの発達を見通した 2-3-4 制による教育を行い、「幼小一貫教育カリキュラム構造の再分節化」の研究を進めています。

卒業生の活躍状況

- ① 追跡調査：中等教育学校連絡進学者の追跡調査を行っています。
- ② 卒業時の担任教師を中心に、卒業生の情報を得ています。
- ③ 卒業生が全員入会する同窓会「伸びて行く会」（明治 44 年結成、105 年経過）という組織があり、2年に一度総会を開いています。

勤務経験者が公立学校・教育委員会へ戻った後の活躍状況

- ① 追跡調査：調査を行っていませんが、つながりは持っています。
- ② 勤務経験者の OB 会「春日野会」があり、本校が情報を持っています。
- ③ 公立学校の研究主任・教務・教頭・校長や教育委員会指導主事になったり、大学教員として活躍したりする者もいます。

奈良女子大学附属小学校の魅力

- ★研究会参加者や参観者を、多数迎えて、学習を公開しています。
(平成 27 年度：2224 人)



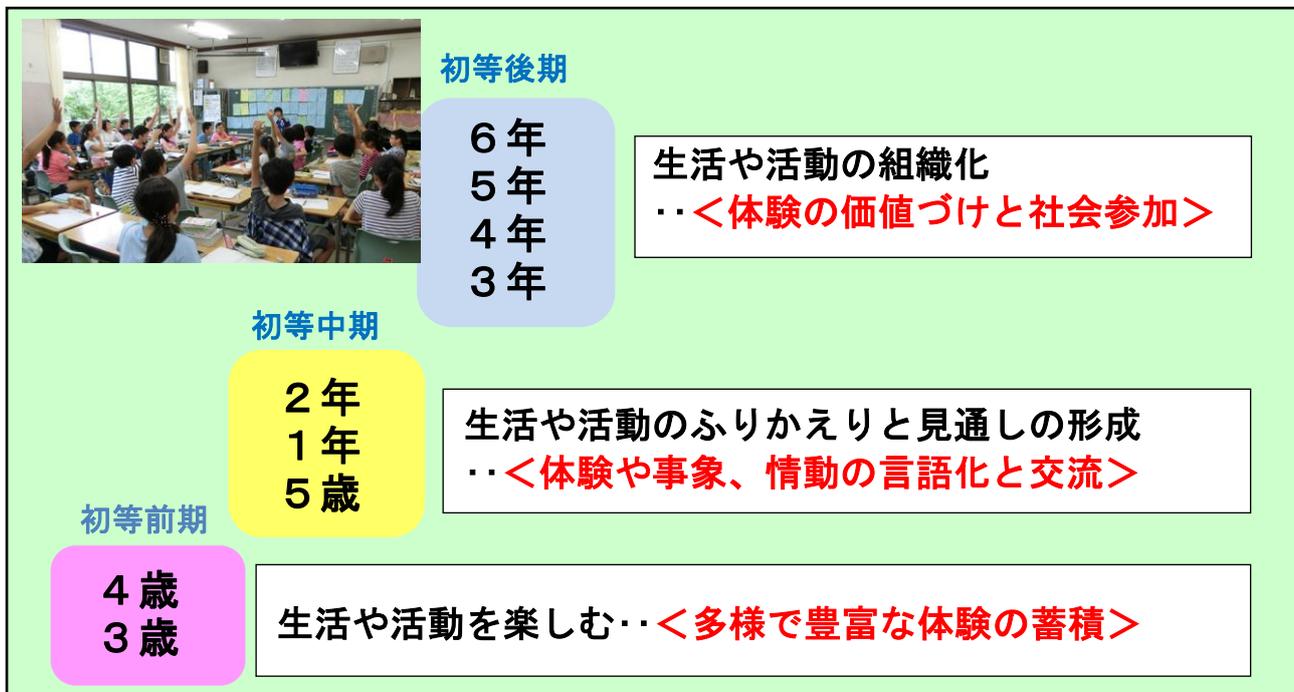
3年間の参加者・参観者、講師派遣数

	平成 25 (2013) 年度	平成 26 (2014) 年度	平成 27 (2015) 年度
公開研究会参加者 (人)	1, 1 3 9	1, 5 8 3	1, 7 4 6
学校参観者 【小学校教員・学生】(人)	3 1 1	5 0 8	4 5 2
学校参観者 【大学教員】 (人)	1 8	2 4	2 6
本校教員を講師として 派遣 (件)	6 4	4 9	4 0

★ 幼小一貫教育を行う学校（9年間を見通した教育）

学びの階段

初等教育（幼稚園・小学校）を、3つの課程に分けて学習します。



奈良女子大学附属幼稚園 奈良女子大学附属小学校



幼小一貫教育カリキュラムの開発



自律的な学習

豊かな生活環境

独自学習・相互学習

異学年探究活動

3・4歳 5歳・1・2年 3～6年

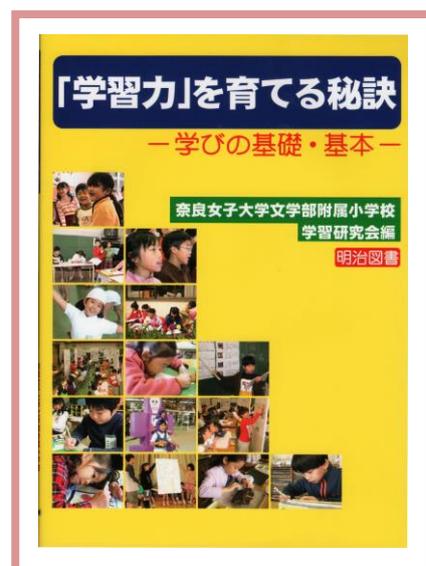
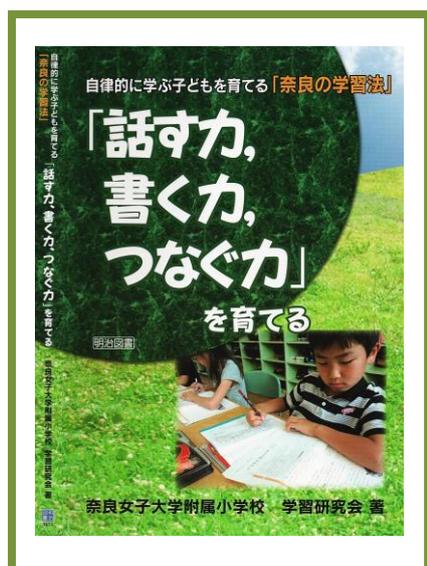
なかよし
タイム

なかよし
ひろば

なかよし
ラボ



★ 著書を出版しています



附属学校の存在意義、本校の存在意義

◆自律的に学ぶアクティブ・ラーニングのモデル校

子どもたちは一人ひとりがめあてを持ち、主体的に学んでいます。「奈良の学習法」によって、アクティブ・ラーニングのモデルを示すことができます。

◆100年以上続く「奈良の学習法」の実践を今も続けている学校

大正期より、独自学習による個の探究と、相互学習による相互の学び合いの実践を続けています。

◆全国に先駆けて幼小一貫教育を研究している学校

公開研究会には1500名を超える参加者があり、普段の学習参観も多数受け入れています。また、幼小一貫教育の取り組みについて全国に発信するとともに、地域の公立校のモデルとなっています。

◆子どもの捉え方、学習の創り方を学び直す、教員の研修の場

若手教員、中堅からベテラン教員まで、自己の教育理念を再考し、発展させることができる研修の場としての役割を担っています。